



救世軍

國際的見解表明

人工妊娠中絕



人工妊娠中絶についての見解表明

救世軍は、すべての人が神の姿に似せて造られたこと、それゆえにすべての人には固有の、ユニークな価値があることを信じます。人の命は聖なるものであり、すべての人は、尊厳と敬意とをもって取り扱われるべきです。救世軍は、母の胎における懐妊によって、その人の人生が始まることを受け入れます。わたしたちは、社会が、他者に対する思いやりをもつ責任があると信じます。特に、胎児を含む弱者の福祉、^{あんわい}安寧を図る責任があると信じます。

救世軍は、命が神からの賜物であり、わたしたちには、その命の取り扱いについて神に答弁することができなければならないことを信じます。それゆえ、救世軍は、人工妊娠中絶が受け入れられつつあることに心を痛めています。そのことが、胎児を含む、弱者に対する配慮が十分ではないことを示しているからです。わたしたちは、胎児が遺伝子の異常をもっていることが判明しても、誕生後も相当の期間生きることが想定される場合、そのことが妊娠の中絶を認めるのに十分な理由となることを信じません。妊娠に関して、困難な決定をしなければならない、辛い、複雑な状況が存在することを救世軍は認めます。予期しない妊娠の期間中の大きなプレッシャーを認識しつつ

も、決定は、祈り深く、十分に考慮したうえでなされなければなりません。生まれることのなかった子どもの両親、特に母親に対して、適切な牧会的、医学的な助言がなされることは、このことに関わるすべての人の責任です。救世軍は、次のような場合においてのみ、妊娠の中絶がおこなわれることを認めます。

- その妊娠によって、母体に死の危険が生じるような時。
- 信頼に足る検査診断の結果、その胎児が生後すぐに亡くなる^なことが判明している時。

さらに、レイプや^{きんしんかん}近親姦が暴力的におこなわれ、その結果、女性が身体的及び精神的侵害を受けている時。この状況は、妊娠の継続によって暴力的影響が悪化する可能性があるため、妊娠状態の継続を断念することを検討するための特別なケースです。

救世軍は、宗教的、倫理的な理由によって、中絶を受け入れることができないと感じている女性のケアにあたる専門職の方々の存在を認め、彼らを支持します。



見解表明の背景と状況

人工妊娠中絶の定義は、胎児が生まれ出る前に、人工的に妊娠を終了させる手術や他の手段を取ることです。これは、「誘発的または選択的中絶」を表し、この人工妊娠中絶についての見解表明の範疇です。「自然流産」または「早産」といった自然な状況での妊娠の終了とは区別されます。

毎年、世界中で2億1,000万人の女性が妊娠していると言われています。これらの妊娠のうち8,000万人が出産に達していません。4,200万人が人工妊娠中絶によって妊娠を終了し、そのうちの2,000万人が違法な人工妊娠中絶です。

人工妊娠中絶は新しい社会現象ではありません

誘発的中絶—妊娠を停止させる意図的な行為—は新しい手段ではありません。古代の中国やエジプト、ローマやギリシャ文明などの歴史に記録されています。世界中で、そして時代を超えて採用されてきた人工妊娠中絶のパターンはとても似ています。女性が望まない妊娠に直面し、中には宗教的・法的制裁にもかかわりなく、しばしばかなりの危険を冒して中絶を選ぶ人々がいました。

複雑な理由で妊娠中絶を望む女性

人工妊娠中絶を不都合もしくは、計画外の妊娠への迅速な対応と見なすべきではありません。また、女性が妊娠の中絶を望むことを軽率で安易なものとして単純に片づけてもなりません。人生のすべての歩みにおいて女性が世界的に直面している多くの困難を個々の状況が示しています。計画外の妊娠の原因については、貧困、戦争、またはしばしば起こる女性への暴力の状況などが支配的だからです。女性が計画外の妊娠から身を守らない、または守れない理由の多くは、文化的、社会的、または経済的な要因の影響を受けています。

戦争の武器としての強姦

強姦、強制売春及びその他の形態の性暴力は、戦争下において、兵士個人の選択としてだけでなく、屈辱を与えることで、敵の士気を喪失させる、という軍事戦術として起きている。それは、実際に報告されたものだけでも数千にのぼります。そのような戦術の結果で妊娠した人々は、属するコミュニティ全体の士気を喪失させ続けるという、重荷を負うのです。



救世軍の立場の土台となるもの

多くの聖書的及び神学的原則が、人工妊娠中絶に関する救世軍の立場を支えています。

命の神聖さ

救世軍は、人間の命の神聖さを信じています。人類は神に似せて創造されました（創世 1：27）。例外なく、すべての人々は神にとって価値があり、年齢、性別、人種、宗教、健康または社会的地位、または成功の可能性に関係なく、神の創造において、特別な地位を保持しています（詩編 8：6）。聖書は、人間の命は神聖であることを明らかにしています。命を与えるのは神であり（使徒 17：25）、それがいつ終わるかを決めるのも神です（詩編 104：29）。特に、罪のない人間の生命権の聖書の原則はしっかりと確立されています（イザヤ 59：7、エレミヤ 22：3）。

人間の命と人格の始まり

神の人格への関心は、子宮内の命を含んでいます（詩編 139：13～16、エレミヤ 1：5）。これは、胎児の命の損失を引き起こす人々に罰則を科している、旧約聖書の律法に反映されています（出エジプト 21：22、23）。マリアのエリサベト訪問（ルカ 1：39～45）も、胎児期からの命の連続性を示

しています。聖書は、特に妊娠の中絶については言及してはいませんが、これらの聖書の記述は、胎児の命を意図的に終わらせる決定は、その継続する神聖さを侵害することであり、したがって神への申し開きを必要とする、重大な問題であることを意味します。

自由意志

人間の命に与えられた、神からの贈り物の一つは、自由意志と意思決定の能力です（箴言 1：29、イザヤ 7：15、16）。一部の人々は、命の神聖さの概念にもかかわらず、母親には妊娠を続けるかどうかを選択する権利があり、そうする権利は胎児の生きる権利に取って代わると主張します。こうした考えは、神が、弱者と疎外された人々を大切にし、擁護する神（レビ 19：14、33、34）であり、正義の神である（詩編 140：13、146：7～9）というキリスト教の信念と一致しません。人権の概念には、人間の責任の概念を伴う必要があります。人工妊娠中絶の場合において、危険にさらされる命を守る、というクリスチャンの責任を除外することはできないのです。



実地的な対応

1. 救世軍は、性交渉は婚姻関係においてのみ守られ、結婚前には避けるべきである、というクリスチャンの考え方を守り、かつ、だれもがその考え方によって生きよう励まします。
2. 胎児の保護とケアに対する真剣な取り組みとして、わたしたちは、信頼できる避妊方法の提供や、安心できる関係性、女性に対する社会的尊重などを通して、望まない妊娠を予防することに力を尽くします。
3. 救世軍は、人工妊娠中絶が考慮される際、両親と胎児のニーズ、権利、責任について真剣に取り扱います。
4. 望まない妊娠が発生した場合、救世軍は、胎児が臨月まで守られるよう、両親の感情的、身体的、社会的、霊的なニーズに対する思いやりあるサポートが受けられるよう支援します。
5. 一部の国には、女性が妊娠状態を終了させる法的権利があります。女性と女性及び胎児を支える人々に対するカウンセリングを通して、妊娠を終了させないための方法が最大限考慮されるべきです。
6. 救世軍は、人工妊娠中絶を経験した女性に対し、差別することなく、愛と思いやりを表しつつ、配慮と尊重をもって支援することを求めます。また、人工妊娠中絶の影響下にある人々に対しても、愛と思いやりを示しつつ交流をもちます。
7. 救世軍は、妊娠を終わらせる決定は、感情的及び身体的意味で、長期にわたる影響を与えること、またそれは、しばしば人間関係や自己肯定感を損なうことを理解しています。
8. 望まない妊娠は時に、劣悪な社会状況や、貧困と戦争の結果として生じます。救世軍は、人間の全体性と自由、命の質とすべての人々の可能性の開発を促進させる社会を提唱しています。





さらに学びを深めるための参考資料

H. ブラウン (2007)

世界における人口妊娠中絶（英文） 英国医療ジャーナル、<https://doi.org/10.1136/bmj.39393.491968.94>

ガット・マッハー研究所 (1996-2010)

研究、政策分析及び教育によって世界の性と生殖の健康を促進させること（英文）

改訂版 <http://www.guttmacher.org>

Sedgh, G., Henshaw, S., Singh, S., Åhman E., & Shah, I.H. (2007).

誘発的中絶：世界における推定率と傾向（英文） [http://dx.doi.org/10.1016/S0140-6736\(07\)61575-X](http://dx.doi.org/10.1016/S0140-6736(07)61575-X)

世界保健機関 (2008)

安全でない中絶

http://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/44529/9789241501118_jpn.pdf;jsessionid=FF11F524373F2868EE9FCA1C657E0F26?sequence=2

2010 年 11 月大將によって承認

この国際的な見解表明は、提示する問題に関する救世軍の公式の見解で構成されています。万国本営の書面による明確な許可なく、いかなる方法でも修正または改訂することはできません。

